

# 図工室だより

令和3年 11月 9日

千代田区立九段小学校

校長 清水 明

図画工作科 大高 美和

## 体で感じる電動糸鋸

本校の図工室はスペースが限られているため、木材の加工は大きな手引き鋸よりも電動糸鋸が大変便利です。厚み2cm程度までの木材は、電動糸鋸で切ることができます。電動糸鋸のガタガタとする音や振動に児童は初めは驚いてしまいますが、仕組みを理解すれば安全に使うことができます。

4年生はウッドハウスをつくっています。初めはおっかなびっくりで、体を硬直させて板を切っていた児童も、つくりたいものが決まってくると、肩や腕の力を抜いて積極的に電動糸鋸を使うようになりました。使えば使うほど手で木材を抑える力加減も身に付いてきました。

しかし、電動糸鋸がはたして20年後も、図工室で活躍しているでしょうか。

最近ではレーザーカッターが家庭用でも販売されており、電動糸鋸よりも安く手に入ります。複雑な絵や図面も、ボタン一つで正確に切断することができます。それに比べ電動糸鋸の操作は、指先の力加減や方向感覚など、身体感覚が必要とされます。材料を切り損じることもあるため、苦手意識をもつ児童もいることでしょう。しかし、自分が材料を切り進める感覚や、材料の長さを修正しながら試行錯誤してつくる達成感は電動糸鋸でなければ得られません。私は今後も、児童が電動糸鋸を楽しめるような授業を考えていきます。将来はもっと便利な教材が今後は登場するかもしれませんが、電動糸鋸が児童にとって大人になっても心に残る体験になればと考えています。

## 1【10月の図工の様子】

### 3年生「でこぼこさん大集合」

これまで用いたことがある材料の凸凹を利用して、紙版画をつくります。それが「でこぼこさん」です。海や陸や空、そして宇宙へ、どんな「でこぼこさん」がいたらいいか、みんなで意見を出し合って活動をはじめました。



## 4年生 「ウッディーライフにようこそ」

ベニヤ板を切り分けて、床や天井にしながら建物をたてます。組み立てながら、家・マンションのような住まい、美術館やカフェなど、それぞれが想像を広げて表しています。柱にする角材の長さをそろえたり、板を電動糸鋸でくりぬいて窓や吹き抜け天井にしたり、電動糸鋸を生かしてつくることができるようになりました。



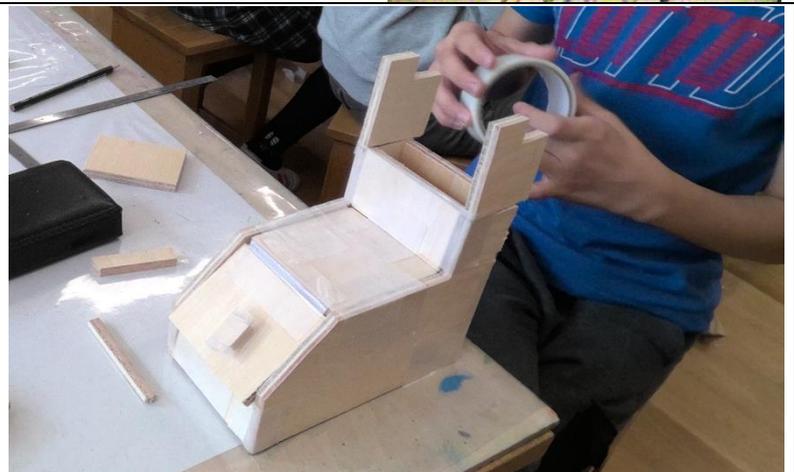
## 5年生 「New Japanese Spirits」 (新しい日本の精霊様)

日本の漫画やアニメにはたくさんの妖怪やモンスターが次から次への登場する物語が数多くあります。先に鑑賞した風神雷神図や日本美術に描かれた様々な精霊様をヒントに、新しいキャラクターを描いています。



## 6年生 「12歳の力で」 (部品の切り出し)

木材を切り出して、養生テープで仮の組み立てをしました。曲線はゆっくりと糸鋸を進めて切ること、直線はやすりで削って長さや形をそろえることに気を付けて、丁寧に材料を切り出しました。



## 2 [11月の題材予定]

学年	題材	分野	持ち物
3年	つみ上げたら、タワーさん	工作	絵の具セット
4年	ウッディーライフにようこそ オリジナル色紙から	工作 平面	布の端切れ 小枝など (手に入れば持ってくる)
5年	ローラー大冒険	版画	使い古しのタオル (手を拭くため)
6年	12歳の力で 水のある風景	立体 焼き物	三角定規 11月最終週から、使い古しのタオル